

こころ、夢、ねがい・・・

少人数でサロンの雰囲気を楽しめたらいいなあ。音楽に浸り、素敵なゲストと語り、さらに、美味しいお食事とワインも其処にあったら最高！しかもそれら全てを、聴きにいらして下さったお客様と一緒に楽しんでしまえたら・・・そんな“ちょっぴり欲張りな”コンサートを企画することが長年の夢でした。私にしか出来ないような選曲で、ポピュラーな名曲から、まだ耳にされることの少ない名作品までをご紹介します。そして、感動や喜びを即“分かち合える”臨場感を味わっていただけたら嬉しいと思っています。

このコンサート実現のために、本当に多くの方々や友人たちの多大なご協力、温かいお力添えをいただきました。(株)ダイエーの林 文子会長にはお心こもるご配慮を賜りました。また、実行委員として参画して下さった私の大切な友人たち、コンサートの現場を支えてくださっているスタッフの方々、そしてご来場の皆様に心より御礼申し上げます。

大津 純子

2005年12月2日



Photo by 加賀見 博明

Guest

林 文子

Fumiko Hayashi

1946年東京生まれ。松下電器産業などに勤務後、ホンダの販売店にセールスレディとして入社。1987年、BMW東京に入社。新宿支店長(1993年)、中央支店長(1998年)などを歴任。1999年、ファーレン東京社長に就任。2003年、BMW東京社長に就任。2005年3月、株式会社ダイエー顧問となり、5月、会長兼CEOに就任。

ヴァイオリン

大津 純子

Junko Ohtsu

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業後、NYを拠点に演奏活動開始。ジュネス・ミュージカル・インターナショナル、及び、カーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。セントルイス交響楽団、シモン・ポリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との協演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉のパブリックTVネットワークによる全米30都市以上への放映、また、米国でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。

国際交流基金派遣にて、ロシア、チェコ、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。これまでに『ヴァイオリンの詩』、『アメリカ』(1998年、『レコード芸術』誌「室内楽準推薦盤」に選出)、『Prelude to a Kiss』など5枚のCDをリリース。近年は、執筆・講演などの分野にも活動の範囲を広げている。

2002年より、自ら企画・プロデュースする室内楽シリーズ『Good Old Days: アメリカの〈素敵な時代〉』をスタート。日本のクラシック音楽シーンの盲点であった“知られざるアメリカ”にスポットを当てた意欲的な好企画として、大きな注目を集める。

2004年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤彦彦と共に、ジャンルを超えて音楽を楽しもうという意図のもと、『Junko and the Night and the Music』シリーズを開始。3人の異なるバックグラウンドを生かしたユニークな企画は大好評を得ている。

ピアノ

鷺宮 美幸

Miyuki Washimiya



桐朋学園大学音楽科卒業。在学中にH.ビュイグ=ロジェ氏の推薦でパリに留学。第56回日本音楽コンクールを皮切りに、日本室内楽コンクール、国際ピアノ・デュオ・コンクールなど多くのコンクールに入賞。トゥール国際アカデミーにて2年連続で最優秀受講生に選ばれた。ソリストとしてオーケストラとの協演や、ミッシェル・マイスキー氏などの著名なアーティストとの共演も多い。京都フランスアカデミーなど、日本各地における音楽祭の公式ピアニスト、桐朋学園大学の嘱託演奏員としても活躍。フルート奏者・小出信也氏ほか、幅広い分野のアーティストとの共演CDもリリースしている。ピアノを寺西昭子、T.パラスキヴェスコ、室内楽をJ.M.ダマーズ、三善晃、H.ビュイグ=ロジェなどの各氏に師事。